

土曜教育活動



シーカヤック・ツリーイングに挑戦 (愛南町 ワクワク体験教室)

①【新居浜市】土曜寺子屋	48
②【西条市】大保木土曜教室	49
③【西予市】せいよキッズキッチン	50
④【愛南町】ワクワク体験教室	51

土曜寺子屋【新居浜市】

～人間性豊かな子どもを育てる～

◆活動の目的・理念

- 「礼を正し場を清め時を守る」子どもの育成
- 市内児童の校外生活の充実を図る「学びの場」
- 経験豊かな教育会所属OBの教育愛に基づく知恵と創意を生かした指導

活動場所	新居浜市教育会館	対象学校区名	市内全小学校区	子どもの平均参加人数	55 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日 日・休業日等	38 日	10 : 00 ~ 12 : 00	活動のべ 日数	42 日
土曜教育サポーターのべ人数	42 人	教員OB		ボランティアのべ人数	115 人
参加者募集	各小学校を通じて募集要項と受講申込書を配布	連携・協力 機関・団体	市内全小学校	教員OB	

取組の概要

<主な取組内容>

- もっと知ろう新居浜を
 - ・ 新居浜の産業・歴史遺産の学習。
- 子ども囲碁道場
 - ・ 囲碁のルールの基本から対局。
- 書を楽しむ
 - ・ 毛筆の技術上達を目指す。
- 歌声のつどい
 - ・ わらべ歌、唱歌、お手玉唄を歌う。
- 篠笛は友だち
 - ・ 日本の伝統楽器篠笛の吹き方を習う。
- できる算数教室
 - ・ 計算力のアップを目指す。
- お茶席の作法
 - ・ 簡単なお点前のお稽古。
- 子ども俳句教室
 - ・ 俳句の作り方の学習。
- 絵手紙
 - ・ 絵手紙の作成。
- 読書の広場
 - ・ 読書活動、読み聞かせ。



(「できる算数教室」での学習)

児童の感想

- ・ 練習を重ねて上手になっていくのが楽しい。
- ・ 今まで知らなかったことを学び、興味がわいてきた。

<特色ある取組>

● 成果発表会の開催

土曜寺子屋で学ぶ児童の学習成果を発表する「土曜寺子屋成果発表会」を新居浜市文化振興会館にて実施。

習字、俳句、絵手紙、本の帯作品展示、新居浜学資料展示、算数教室活動写真展示のほか、囲碁対局、歌声・篠笛演奏会、俳句発表会、お茶会などに多くの市民が来場。



(「歌声のつどい」の発表)

事業を実施して

【成果】

- 発表会の作品内容がレベルアップするなど、寺子屋での学びが成果として表れた。
- 親子清掃活動や発表会に、保護者と児童、講師が協力して参加することにより、学校生活以外でのコミュニケーションができた。

【課題】

- 講師の高齢化に伴う後継者の育成。
- 小学校との連携や情報交換の不足。

大保木土曜教室【西条市】

～大保木で里山の生活体験教室～

◆活動の目的・理念 過疎に負けない村づくり

- 地域の環境を生かした体験活動の充実を図る。
- 地域住民との交流を促進する。
- 地域活性化に貢献する。

活動場所	大保木公民館他	対象学校区名	西条市内全域の高校	子どもの平均参加人数	5.5 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日 2 日 日・休業日等 7 日	10 : 00 ~ 12 : 00	活動のべ 日数	9 日	土曜教育活動 推進員のべ人数
土曜教育サポーターのべ人数	8 人	地域住民・地元出身者	ボランティア のべ人数	54 人	地域住民・地元出身者
参加者募集	各高校を訪問してチラシを配布 行事はその都度募集				
	連携・協力 機関・団体	公民館・地域住民・石鎚ふれあいの里・自治会・他			

取組の概要

<主な取組内容> 高校生対象 山の体験プログラム (9回実施)

- そうめん流し
放課後子ども教室「山の学校」とタイアップして、小学生と地域住民とが触れ合うとともに山の自然に親しんだ。
- お山のマルシェ
「山の日」に野外で販売体験や河原でそうめん流しの手伝いなどに取り組んだ。
- 「山仕事体験」
薪割り体験でお手伝い。
網引きで盛り上がりました。
- 山の畑仕事体験
山の畑を耕したり、苗を植え付けたりしてお手伝い。
- 運動会の手伝い
競技の進行をして地域を盛り上げに貢献。
- 歴史探訪
大保木を歩いて山の生活を知り、大保木の歴史「銀納義民」について学んだ。
- かずら細工教室
山のつるを編んでクリスマスリース作り。
- 竹取り物語
大保木山の竹を伐採して食器や箸作りを体験。
- 竹ご飯を作ってみよう
竹でご飯を炊いて地域の人と触れ合い。



(住民と運動会)



(歴史探訪)

歩いて大保木の歴史を学びました。

トウモロコシの種とり
を手伝いました。



(山で畑仕事)

生徒の感想

- ・ 初めて体験することばかりで楽しかったです。
- ・ 地域の方と交流ができ、大保木が大好きになりました。また遊びに来たいです。
- ・ 知らなかった山の生活と歴史がよくわかり、勉強になりました。

<特色ある取組>

- 山仕事体験
大保木の自然を感じ、山の生活に触れ、地域の人々との交流を通して、大保木の魅力を感じ、山の暮らしを知り、学んだ。



(初めて薪割りを体験しました)



(仕事の後は地域の方のごはんが
楽しみの一つです)

事業を実施して

【成果】

- 山が元気になった。
- 地域住民が改めて、地元の歴史を学ぶきっかけになった。
- 高校生が大保木に関心を持ち、楽しい、また、行きたいと思うようになった。
- 高校の先生が積極的に事業に協力してくれるようになった。(事業の周知や生徒のとりまとめ)

【課題】

- 事業内容の周知方法、人が集まらない、交通手段の確保(バスが1日4便しかなく、最寄りの駅から片道740円)
- 高校生のニーズの把握と開催期間の調整
- 講師やスタッフの協力体制の構築と人材発掘
- 持続可能な活動内容の企画

せいよキッズキッチン【西予市】

～料理ってたのしい！だいどころはしあわせをつくるばしょ～

◆活動の目的・理念

- 子どもたちが、安心して過ごすことのできる居場所づくり
- 学校・家庭・地域の連携による教室づくり
- 土曜日等の豊かな教育活動を推進

活動場所	西予市教育保健センター	対象学校区名	市内全小学校区	子どもの平均参加人数	20 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日 日・休業日等	8 日 日	9 : 30 ~ 13 : 00 : ~ :	活動のべ 日数	8 日
土曜教育サポーターのべ人数	16 人	婦人会、食育改善グループ	ボランティアのべ人数	人	土曜教育活動推進員のべ人数
参加者募集	各小学校を通じてチラシを配布 行事によってはその都度募集	連携・協力 機関・団体	婦人会、食育改善グループ等		

取組の概要

<主な取組内容>

- 食育学習
 - ・ 普段何気なく食べている食事には多くの「力」があることから、食えることと生きることについて考える。
- 料理について学ぼう
 - ・ 当日に行う料理について、自分の体にどんな「力」をくれるのか、どんな意味があるものなのかなど、メニューについて学んだ。
- 調理しよう
 - ・ 同級生や下級生・上級生、そして、ボランティアの方々と一緒に、班で協力しながら調理を行った。
- 片付け・反省
 - ・ 自分たちで片付けを行い、その後、振り返りと反省を行った。



(地域の人に教わって)

児童の感想

- ・ 今度から家で料理の手伝いをしたいです。
- ・ お米のおいしい炊き方や野菜の切り方などをたくさん教えてもらいました。
- ・ 農業の仕事は思ったより難しいことが分かりました。

<特色ある取組>

- 料理は全て自分たちで
 - ・ 料理は、極力自分たちのみで行った。子どもたちには、おいしい料理ができて楽しかった思い出と同じぐらい、自分がうまくできなかったり、失敗したこと、一人ではできなかったりしたことなどを学んだ。
- 西予市産の食材を知る
 - ・ 西予市産の材料を調理することで、地域食材を知ることができた。
 - ・ 農業や加工品作りをしている人たちから様々な話を聞いた。



(農業を営むの人の話を聴く子どもたち)

事業を実施して

【成果】

- 子どもたちが主体的に動くことが多くなった。
- 他校や上級生・下級生と仲良くなる子が増えた。
- 全ての子どもたちが、キッズキッチンに対して喜んで参加している。
- 家の人への感謝の気持ちが芽生えた。

【課題】

- 申込みが多いので、全ての子どもの受け入れができない。
- スタッフの確保と育成を進めていく。

ワクワク体験教室【愛南町】

～愛南町を愛する子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 子どもたちに、学校の教育課程に留まらない体験的な活動、補充・発展的な学習を提供する。
- 子どもたちの心身の健やかな成長を支援する。
- 地域の貴重な遺跡や豊かな自然を舞台として、専門的な知識を持つ指導者から学ぶ機会を提供することで、子どもたちに郷土愛を醸成する。

活動場所	町内各地域		対象学校区名	町内全小中学校区		子どもの平均 参加人数	15	人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	5 日	10 : 00 ~ 12 : 00	活動のべ 日数	10 日	土曜教育活動 推進員のべ人数	13	人
	日・休業日等	5 日	10 : 00 ~ 12 : 00					
土曜教育サポ- ーターのべ人数	13 人	元教員、元公務員 等		ボランティア のべ人数	人			
参加者募集	各小・中学校を通じてチラシを配布		連携・協力 機関・団体	各小・中学校、各公民館等				

取組の概要

＜主な取組内容＞

● スラックラインに挑戦 ● 火起こしに挑戦



(感想) また挑戦して、もっとうまくなりたい。



(感想) 自分で火を起こすのは大変だと分かった。

● 微細貝探しに挑戦



(感想) いろいろな貝が見つかって、うれしかった。

● シーカヤックに挑戦



(感想) 海の上を進むのは気持ちが良かった。

● ロウ画に挑戦



(感想) 宇宙のような不思議な絵が描けて、うれしかった。

● ツリーイングに挑戦



(感想) 高い木に登ると気持ちがよかった。

● ピザづくりに挑戦



(感想) 自分で作ったピザはとてもおいしかった。

● ペットボトルロケットづくりに挑戦



(感想) 遠くまで飛んで驚いた。

＜特色ある取組＞

● 星空観測

子どもたちは、自分の体の倍ほどもある大きな天体望遠鏡をのぞいて観察した。土星の輪や木星の模様が见えると「すごい！」と歓声を上げていた。星にまつわる話も聞いて、子どもたちは、愛南町の満点の星空の素晴らしさを知るとともに、宇宙への興味を深めていた。

(大きな天体望遠鏡を順番にのぞいていく子どもたち)



事業を実施して

【成果】

- 年間を通じて、子どもたちに様々な体験を提供することができた。
- 愛南町の自然や文化と子どもたちを触れ合わせることができた。
- 子どもたちの輝く笑顔を見ることができた。

【課題】

- 学校や公民館等のいろいろな行事と重なってしまうことが多く、日程の調整・参加者集めが難しいが、各機関と連絡調整を行い、参加しやすい日程や時間の設定に努めた。
- 参加者が固定化しつつあるので、幅広く参加してもらうために、魅力ある内容と開催方法を計画する。



愛媛県イメージアップキャラクター
みきやん

家庭教育支援



「親子防災デイキャンプ」親子講座
(砥部町 家庭教育支援チーム)

①【四国中央市】家庭教育支援チーム ふれ愛グループ	54
②【西条市】子育て学習講座	55
③【今治市】家庭教育学級・子育て学習講座	56
④【上島町】家庭教育支援・子育て講座	57
⑤【伊予市】伊予市家庭教育・子育てサポートグループ	58
⑥【砥部町】砥部町家庭教育支援チーム	59
⑦【久万高原町】久万高原Happyサポート	60
⑧【大洲市】大洲子育てサポート“そよ風”	61
⑨【八幡浜市】家庭教育支援チーム	62
⑩【西予市】せいよ家庭教育・子育て応援グループ	63
⑪【宇和島市】宇和島市家庭教育支援チーム	64
⑫【愛南町】あいなん子育て応援グループ	65

家庭教育支援チーム ふれ愛グループ【四国中央市】

～絆を深め、心の通った温かい支援を目指して～

◆活動の目的・理念

- 家庭教育や子育てに関する講座を推進し、家庭教育力の向上を図る。
- 懇談会や相談活動を通して、保護者の悩みを共有し、温かい支援に努める。
- 子育ての拠り所となる子育て情報を発信し、活動の絆を深める。

活動拠点	妻鳥公民館・寒川公民館	講座・学習 会開催数	30 回	相談対応 件数	46 件	訪問活動	件
広報活動	1 回	連携・協力 団体・機関	市内保育園・幼稚園33園、小学校19校、中学校7校、公民館3館				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	名	子育てサポーター・リーダー	2 名	民生委員・児童委員	名	
	元教職員	3 名	PTA役員	名	保健師	名	
計 8 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	3 名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 親の子育てを応援する学習会の開催

1 子育て学習会(保育園・幼稚園6回、小学校9回)

参観日や就学時健康診断等を利用して子育て講座を行っている。保育園や幼稚園では、子どもの成長発達と親の役割について、小学校では、子どもの発達段階や早寝早起き朝ごはんの大切さ、スマホやゲーム等の弊害や注意点、就学前の生活習慣の付け方等について、資料を基に語り掛け、保護者の教育力の向上を図った。

2 子育て懇談会(保育園・幼稚園5回)

幼児の発達段階や家庭での保護者の関わり方について年齢別に語り合った。毎年実施している園では保護者同士が、お互いの子育て情報を語り合い、育児に前向きに取り組んでいる様子が感じられた。初めて実施した園でも保護者が子育てを語り合い、真剣な思いが伝わってきた。

● 必要な支援へとつなぐ相談活動の実施

- ・ いじめや不登校、学力不振、発達障がい等子どもたちが抱えている問題で悩んでいる保護者の話に耳を傾け、温かい支援に努めている。

● 公民館との連携

- ・ 土居公民館で未就園児と保護者を対象に年10回学習会を開催している。

● 効果的な情報提供

- ・ 家庭教育の指針として、保護者の心の拠り所となるリーフレットを作成し、保育園や幼稚園、小学校、中学校の保護者に配布している。



(「子育て懇談会」寒川保育園)

保護者の感想

- ・ 早寝早起きがいいとか褒めるのいいとか、いろいろなところで聞くけど、なぜいいのかを医学的に説明してくれたのでなるほどと思いました。普段から優しい言葉遣いをしたり、感情的にならないようにしたりしなければならぬと反省しました。
- ・ 子どもは親の言動を見ているということを再認識しました。今以上に真剣に子どもと接していきたいです。

<特色ある取組>

● 子育て講座

今年度、初めて学校からの依頼で、子どもたち(4・5・6年生)に話をする機会があった。演題は【スマホの正しい使い方】である。小学生でも多くの子どもがゲーム機やスマホでインターネットを使っている。そして、学校現場にもその弊害が出てきている。子どもたちは、話を聞き、うなづいたり驚いたりしながらも、本当に真剣に耳を傾けてくれていた。話をしながら、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わってきていることを改めて感じさせられた。



(「子育て講座」北小学校)

事業を実施して

【成果】

- 子育て講座の依頼が増えている。子どもの成長過程での親の役割や基本的な生活習慣の大切さについて話をしているが、保護者は真剣に耳を傾けてくれている。
- 相談活動では、子どもの言動に一喜一憂している保護者の姿が伺える。長期に及ぶ相談も多い。保護者の心に寄り添い、前向きに歩めるよう心掛けている。

【課題】

- スマホやゲーム機等、子どもを取り巻く環境が、大きく変わってきている。研修を深め、時代に対応した話ができるよう、スタッフの質の向上に努めていきたい。
- 気軽に個別相談ができる機会や場所を確保していきたい。

子育て学習講座【西条市】

～学校や地域とともに築く家庭教育～

◆活動の目的・理念

- 各年齢層の児童・生徒を持つ保護者のために、参観日や保護者会等の機会を利用し、子育てに関する講座を実施することにより、家庭教育の向上を図ることを目的とする。

活動拠点	－	講座・学習 会開催数	59 回	相談対応 件数	－ 件	訪問活動	－ 件
広報活動	1 回	連携・協力 団体・機関	小学校25校、中学校10校、各小中学校PTA				
チーム スタッフ 計	名	地域コーディネーター 元教職員 心理士・スクールカウンセラー	名	子育てサポーター・リーダー PTA役員 支援団体・NPO関係者	名	民生委員・児童委員 保健師 その他	名

取組の概要

<主な取組内容>

● 小学校での就学時健診等を活用した子育て学習講座

- ・ 就学前の子どもを持つ親を対象とした講座
- ・ 各小学校単位で実施

● 小学校での参観日等を活用した子育て学習講座

- ・ 小学生の子どもを持つ親を対象とした講座
- ・ 各小学校単位で実施

● 中学校での参観日等を活用した子育て学習講座

- ・ 中学生の子どもを持つ親を対象とした講座
- ・ 各中学校単位で実施



(「就学時子育て学習講座」の様子)

保護者の感想

- ・ 配慮を必要とする子どもへの対応が分かり、大変よかった。学校としても、支援を必要としている子どもや親のことを考えてくださるようになったのだと思うと、大変うれしく思います。
- ・ 「子どもには、できる子とできない子がいるのではなく、早くできる子とゆっくりできる子がいるだけ」という先生の言葉に、はっと気付かされました。今、この瞬間の子どもとの温かい関わりこそが大切なのだと分かりました。

<特色ある取組>

● 親子で深める「スマホ・ケータイ安全教室」

5校時に、「スマホ・ケータイ安全教室(児童編)」として、5・6年生対象に講演を実施。この時間は、参観授業としていたため、保護者の方々にもその講演を聞いていただいた。その後、大人が、もう少し深く学ぶために、15時から「スマホ・ケータイ安全教室(保護者・教員編)」を実施した。このことにより、家庭におけるスマホの使い方について親子で話し合いながらルール作りをすることができた。



(参観日後の保護者向け講演)

事業を実施して

【成果】

- グループで話し合うことで保護者同士の人間関係に深まりが見られた。
- 子どもを見つめ直すよい機会になった。
- 発達障がいの子どもの理解が深まった。
- スマホ等の危険やトラブルから子どもをどのように守るか、親子で深める機会ができた。
- 日頃の悩みの解決につながった。

【課題】

- 保護者に望むことや伝えたいことについては伝えることはできたが、保護者の不安や悩みを解消することができたかといえ、疑問である。保護者の不安や悩みを出し合うことができるような場を工夫して設定することも必要ではないかと感じた。
- より多くの方に聞いていただくことができるような機会等の設定を工夫したい。

家庭教育学級・子育て学習講座【今治市】

～学校・PTA・地域と連携した講座の実施～

◆活動の目的・理念

- 児童・生徒が心身ともに健全な成長をするように、学習活動を通して家庭における成人の役割を学び、心豊かな明るい家庭環境づくりと青少年の健全育成を目指す。

活動拠点	－	講座・学習 会開催数	169 回	相談対応 件数	－ 件	訪問活動	－ 件
広報活動	回	連携・協力 団体・機関	家庭教育学級(小学校20校、中学校12校、各学校PTA) 子育て学習講座(小学校15校)				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	名	子育てサポーター・リーダー	名	民生委員・児童委員	名	
	元教職員	名	PTA役員	名	保健師	名	
計 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	名	

取組の概要

＜主な取組内容＞

● 子育て学習講座

- ・ 小学校の就学時健康診断の機会を活用して実施
- ・ 講師は校医、保健師、発達支援センター職員などに依頼
- ・ 子どもの健康管理や身に付けさせたい生活習慣、子どもとの向き合い方などについての講座

参加者の声

- ・ 子どもの自立を支援するためにも、勇気付ける言葉掛けをしたい。
- ・ 「子育てはいつでもやり直すことができる」という話を聞き、気持ちが楽になった。
- ・ 褒めることの大切さを改めて痛感した。

● 家庭教育学級

- ・ PTAの組織を通じた研修会の開催
- ・ 地域の特性を生かした講座
- ・ 最新のニーズに応える講座



(子育て学習講座①)



(子育て学習講座②)

＜特色ある取組＞

● 家庭教育学級

家庭教育学級では、市内小中学校PTAが地域の特性を生かし、今治タオル体操、地魚料理教室、菊間瓦の造形などの教室を実施するほか、心肺蘇生法やAED講習等の学習活動を行っている。中には親子で参加して楽しめる教室も実施している。



(家庭教育学級「親子でスノードーム作り」)

事業を実施して

【成果】

- 子育て学習講座では、子どもの健康管理や生活習慣、子育てをする上での留意事項について、講師から指導・アドバイスを受け、参加者にとって子育ての方法を見つめ直す良い機会となった。
- 家庭教育学級では、給食試食会や食育に関する学習、心肺蘇生法など様々な学習活動を行った。教室をとおして参加者同士の交流が深まり、互いに家庭の相談がしやすい環境をつくることができた。

【課題】

- 学校で平日に実施するため、参加者の大半が女性であり、男性の参加が少ない。男性の参加が増えるよう土日の参観日等での開催を検討したい。

家庭教育支援・子育て講座【上島町】

～親子がふれあう機会の充実をめざして～

◆活動の目的・理念

- 家庭教育における課題を探り、子どもの発達段階や親としての心得、また子どもが抱える問題等について学習する機会をもつことで、全ての保護者が安心して家庭教育を行える環境づくりを進める。
- 家庭教育における悩みを相談し、情報交換できる場をつくる。

活動拠点	弓削中央公民館 魚島公民館	講座・学習 会開催数	9 回	相談対応 件数	- 件	訪問活動	- 件
広報活動	回	連携・協力 団体・機関	小学校2校、中学校2校、保健センター				
チーム スタッフ	地域コーディネーター 元教職員	名	子育てサポーター・リーダー PTA役員	名	民生委員・児童委員 保健師	名	名
計 0 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	名	名

取組の概要

<主な取組内容>

● 子育て講座

今年度は、岩城地区、魚島地区、弓削地区計3回の子育て講座を開催。学校の参観日を活用し、親子でできる活動を中心に企画した。

(第1回)魚島地区・・・防災・減災を目指した学びでつなぐ親子、地域

(第2回)岩城地区・・・親子で手話にチャレンジ！～手話は心と心をつなぐことば～

(第3回)弓削地区・・・親子で考える人権教育

● 親子ふれあい教室

今年度から新しい事業として、保健センターの育児教室と共催で、対象者を広げて、親子ふれあい教室(年6回)を開催した。

- ・ 親子でリフレッシュ～ハンドマッサージ体験～
- ・ 読み聞かせ&ふれあいコンサート
- ・ ファーストサイン教室
- ・ ねぞうアートを楽しもう！・・・など



(初めての手話にチャレンジ！)



(普段の子育てについて情報交換)

参加者の感想

- ・ 家庭でも子どもと一緒に手話をやってみたい。
- ・ 楽しく防災について考える機会になった。
- ・ 普段子どもとの時間を十分持てていないので、こういう機会はよかった。

<特色ある取組>

● 防災・減災を目指した学びでつなぐ親子、地域

魚島地区で実施した子育て講座は、親子でまたは地域の方も交えて、防災や減災について学んだ。親子で防災グッズを手作りしたり、非常食を試食したりするなど、楽しみながら防災、減災の大切さを学ぶことができた。

災害が起こったとき、またそれに備えて家庭や地域で準備しておくことが大切だということが分かった。参加者からも、家庭でも今一度災害時にどうしたらよいのか、普段からできることを考えてみたいといった感想もいただいた。



(親子で防災グッズを手作り)

事業を実施して

【成果】

- 学校や保健センターとの連携を図ることができ、より多くの保護者に参加してもらうことができた。
- 親子のふれあいの機会を多く持った。子どもと過ごす時間を楽しんでもらうことができた。
- 親同士の交流の場ができ、普段の育児の悩みなど情報交換できた。

【課題】

- 参観日にあわせての開催は、学校との調整が必要であるため、早めに計画しなければならない。
- 保護者同士のつながりをさらに深めていけるようなテーマの選定、気軽に参加しやすい講座の雰囲気づくりも心掛けていきたい。

伊予市家庭教育・子育てサポートグループ【伊予市】

～家庭・地域での家庭教育・子育て支援を目指して～

◆活動の目的・理念

- 地域住民に対して家庭教育や子育てに関する情報や学習機会を提供しながら相談活動の充実を図り、共に支え合う家庭・地域づくりを応援する。

活動拠点	伊予市中央公民館	講座・学習 会開催数	10 回	相談対応 件数	15 件	訪問活動	件
広報活動	2 回	連携・協力 団体・機関	市内保育所10園、幼稚園5園、小学校9校、中学校4校、公民館6館、子育て支援センター、保健センター、児童センター				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	1 名	子育てサポーター・リーダー	名	民生委員・児童委員	名	
	元教職員	5 名	PTA役員	名	保健師	名	
計 16 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	10 名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 家庭教育・子育て支援のPR活動

スタッフが保育所、幼稚園、小学校等に出向き支援活動の説明を行う。

- ・ 学習会の案内、学習会開催希望アンケートの配布等

● 学習会の開催

参観日等の保護者の集まる機会を利用した学習会

- ・ 講話とグループ別の話し合いにより、子育て等に関心と意欲を持たせる。

地域や地元企業との学習会

- ・ 子どもを語る座談会(地区公民館)
- ・ 地元企業による「花かつおのひみつ」と題した、親子で学習し調理する学習会

親子で遊び学ぶ会の提供(読み語り、指スタンプなど)

● 相談の実施

子育て相談室(個人相談)とグループ相談

- ・ 学習会等でのグループ相談活動

● 情報の提供

情報誌「ほのぼの」の発行(年2回)

- ・ スタッフ及び活動の紹介
- ・ 子育てで頑張っている家族の紹介
- ・ 特色ある地域団体の活動紹介
- ・ 子育て悩み相談



(家庭教育情報誌)



(かつおけずり)



(だしとり)

(親子でだしについての学習会)



(大平地区座談会)

<特色ある取組>

● 図書館&地域の読書ボランティア&子育てサポートグループのコラボイベント

本のある図書館で、読み語り隊による紙芝居と子育てサポートグループによる色あわせマジックや大型ぬり絵を親子で楽しむイベントを行った。三つの団体が合体することで

子どもたちはいきいきとした活動ができ、親子で楽しみ有意義な時を過ごせたと好評。

また保護者同士が子育ての悩みなども話し合い、保護者同士、子ども同士が交流し触れ合う機会を提供した。



(色・いろ・マジックDEあそび)

事業を実施して

【成果】

- 保育所や幼稚園の参観日等の機会を活用して学習会を行うことにより、保育所等と連携して活動できた。また、地域の方にも多く参加してもらえた。
- 地元企業や地域読書ボランティア、また他の専門部局とも連携して学習会を行い、参加者にいろいろな角度から、子育ての支援を行えた。

【課題】

- グループ活動の継続と、新しい人材の発掘や育成。
- 保護者が安心して気軽に相談できる場所や体制づくりが必要である。

砥部町家庭教育支援チーム【砥部町】

～子育てについて楽しく学び、気軽に相談できる場を目指して～

◆活動の目的・理念

- 気軽に相談できる、身近な家庭教育支援員を目指す。
- アットホームな子育て学習会で、楽しく子育てについて学ぶ。
- 保護者と行政とのパイプ役として、子育てに関する生の声を届ける。

活動拠点	砥部町中央公民館	講座・学習 会開催数	5 回	相談対応 件数	8 件	訪問活動	件
広報活動	5 回	連携・協力 団体・機関	小学校4校、中学校1校				
チーム スタッフ	地域コーディネーター 1 名	子育てサポーター・リーダー 名	民生委員・児童委員 名	元教職員 名	PTA役員 名	保健師 名	
計 5 名	心理士・スクールカウンセラー 名	支援団体・NPO関係者 1 名	その他 3 名				

取組の概要

<主な取組内容>

● 親の子育てを応援する学習会の開催

- ・ 第1回「砥部町の子育て支援について」
- ・ 第2回「親子防災デイキャンプ」(親子講座)
- ・ 第3回「日々の悩みを日々のバネにして」
- ・ 第4回「自分の未来をのぞいてみよう～夢マップづくり～」
- ・ 第5回「子育てのヒント～フツーの子なんていない、みんな特別な子どもたち～」

今年度は、第2回目で親子講座を開催し、親子で楽しく参加してもらった。



(第2回「親子防災デイキャンプ」親子講座)

● 家庭教育相談会の実施

町内小中学校PTAが実施する「子育て学習支援講座」の場において、出張相談会を実施した。(小学校1校、中学校1校)

● 広報活動

広報誌を発行し、家庭教育支援活動の周知を図るとともに、その他の町の子育て情報等も掲載し、全ての保護者が安心して子育てできるよう情報提供に努めた。



(第4回「自分の未来をのぞいてみよう～夢マップづくり～」)

子育て学習会参加者の感想(学習会後の茶話会にて)

- ・ 参加して、いろいろな方とお話ができ、自分だけが悩んでいるのではないと少し気持ちが楽になった。
- ・ 地域のことを知るいいきっかけになった。

<特色ある取組>

今年度も学習会終了後、参加者全員(受講者、講師、家庭教育支援員)で輪になって、お茶を飲みながら自由に話す時間を設けている。リラックスした環境で、子育てについて普段思うこと、聞いたかったこと、悩んでいることなどを気楽に話してもらい、同じ悩みを持つ方からアドバイスをもらったり励ましてもらったりして、元気になって帰れると好評である。



(学習会後の茶話会の様子)

事業を実施して

【成果】

- 学習会後の茶話会では、同じ子育ての悩みを持つ者同士が、率直な意見交換を行い、子育てに対する不安を軽減することができた。
- 専門的知識を持つ講師の講義や家庭教育支援員との関わりを通して、家庭教育に関する相談に乗ることで、きめ細やかな家庭教育支援を行うことができた。

【課題】

- 子育て学習会の参加者も増えつつあるが、さらに多くの参加者を募るため、参加者の意見を反映した学習会テーマの設定や、開催時間、周知方法を等を工夫する必要がある。
- 家庭教育の大切さや子育ての楽しさを知ってもらうために、夫婦で参加しやすいような環境づくりに努める。

久万高原Happyサポート【久万高原町】

～楽しさを感じ元気が湧いてくる子育てを～

◆活動の目的・理念

- 楽しさと元気をテーマに、豊かな子育てを支援する。
- 様々な機関と連携し、きめ細やかな支援をする。
- 子育て世代と地域をつなぎ、地域全体で子どもの成長を応援する。

活動拠点	Happy House (地域子育て支援センター)	講座・学習 会開催数	22 回	相談対応 件数	70 件	訪問活動	2 件
広報活動	3 回	連携・協力 団体・機関	町内小学校9校、幼稚園9園、小学校9校、高校1校、保健センター1、社会福祉協議会1				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	1 名	子育てサポーター・リーダー	2 名	民生委員・児童委員	名	
	元教職員	1 名	PTA役員	名	保健師	1 名	
計 17 名	心理士・スクールカウンセラー	1 名	支援団体・NPO関係者	名	その他	11 名	

取組の概要

<主な取組内容>

- 子育て情報誌「キラリ」発行
 - ・ 子育て世代への情報発信
- 学習会「Happyカフェ」開催
 - ・ 子育て講座、Happy子育てトーク、カルチャーレッスン等(グループワークで楽しく学ぶ学習会)
- 子育て相談実施
 - ・ Happy House及びNIKONIKO館での相談活動
 - ・ 町内小学校・幼稚園を訪問、出張相談活動
 - ・ 療育相談、療育教室(発達障がいや気になる子どもへの対応)
- 保健センターとの連携
 - ・ 乳幼児健診訪問、離乳食教室及び食育教室参加
- 子育てサロンでの交流
 - ・ ふれあい広場、つどいの広場での相談、仲間作りの応援(遊びの提供や託児支援をしながら、さりげなく関わる)



(地域のみんなで交流「おはなし屋えっちゃん」お話会)



(「カフェで気軽に子育て相談」学校訪問 久万小学校)

保護者の感想

- ・ Happyサポートのスタッフは、いつでもどこにでも居てくれて、さりげない支援で子育て家族を支えてくれている。
- ・ 行事やイベントの時には託児支援に入ってくれるので集中することができる。
- ・ 保健センターでの乳幼児健診や学校訪問では、子どもの成長について聞いてもらえる。
- ・ 共に町で暮らす身近なスタッフの存在が心強い。

<特色ある取組>

● 「認知症講座とオカリナ演奏」

久万高原町社会福祉協議会と連携して認知症講座を開催した。講師は東雲女子大学非常勤講師の杉本詠二先生。若いお母さんたちにも、やがて経験する介護について知ってもらう目的で「Happyカフェ」に組み込み開催した。子育て中の方はもちろん地域の方にも参加していただき、認知症への理解を深めた。ジョークを交えたテンポのいいお話と、うっとりするようなオカリナの音色に全員満足した様子だった。暗いイメージに捉えられがちな認知症を、明るく肯定的に考えて、誰もが安心して暮らせる地域を目指したい。



(オカリナの音色にうっとり「認知症講座」)

事業を実施して

【成果】

- 高校生と乳幼児のふれあい体験や、小学校への訪問など、学校関係との連携により活動が充実した。
- 社会福祉協議会との連携を深めることで、子育て世代と地域をつなぐことができた。

【課題】

- 公民館、婦人会など、幅広い層の力を借りて、地域全体で子どもを育てることを実践していきたい。
- 保健センター及び療育関係の専門スタッフと連携して、孤立している人への支援をしていきたい。

大洲子育てサポート“そよ風”【大洲市】

～保護者に寄り添う家庭教育支援を目指して～

◆活動の目的・理念

- 乳幼児から思春期までの子育てに関する悩みや心配ごとについて、相談や支援を行う。
- 相談に応じて関係機関と連携し、必要なサポートを行う。
- 情報紙(そよ風通信)や学習会を通して、子育てを考える機会を提供する。

活動拠点	喜多小学校	講座・学習 会開催数	22 回	相談対応 件数	180 件	訪問活動	29 件
広報活動	11 回	連携・協力 団体・機関	保育所18か所、幼稚園8園、小学校13校、中学校9校、公民館23館、児童館3館、保健センター、子育て支援センター、子育て支援課				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	1 名	子育てサポーターリーダー	1 名	民生委員・児童委員	1 名	
	元教職員	3 名	PTA役員	名	保健師	名	
計 10 名	心理士・スクールカウンセラー	2 名	支援団体・NPO関係者	名	その他	2 名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 利用しやすい相談対応

- ・ 毎週月・火・木・金 9:00～16:00に 電話相談・来所相談・訪問相談。
- ・ 相談者の要望に応じて、場所や時間を設定し、相談対応を行っている。
- ・ 児童館での『子育て広場』の後、個別相談対応も行っている。
- ・ 相談内容によっては、学校やその他の関係機関と連携している。



(相談対応)

● 子育てを応援する学習会の開催

- ・ 子育て広場(毎月1回、児童館2か所)において、子育てに関するお話やグループトークを行っている。
- ・ 子育て学習会(保育所・幼稚園・小学校)や研修会の講師として参加し、参加体験型の活動を取り入れ、楽しみながらも、気づきを促すような学習の場を設定している。



(子育て学習会)

保護者の感想(子育て広場・子育て学習会について)

- ・ しつけのことなどを分かりやすく話してもらって参考になった。
- ・ 毎回心に響く話を聞き、子どもが生まれた日を思い出し、初心に戻っている。
- ・ みんなが同じようなことで困っていることが分かり、共感したり刺激になったりしている。
- ・ 子育て中の人が集まれる場所があるだけでもうれしい。安心する場になっている。

● 子育てに役立つ情報提供

- ・ そよ風通信の発行。毎月1回5,200部発行。市内の全保・幼・小・中学校・その他関係機関に送付。
- ・ 子育て広場や子育て学習会に参加できない保護者、孤立しがちな保護者に対して、ダイレクトに届けられる支援として有効であると考えている。

<特色ある取組>

● 学校・他機関との連携

- ・ ある相談事例について、そよ風主催でケース会議を行った。出席者は、学校、学童保育、児童館、子育て支援課、社会福祉課。情報交換を行うとともに、それぞれの部局で、相談者を支援するための役割分担を行った。今後の展望が明らかになったことで、相談者に安心感が見られた。また、相談者が相談をしてもらう立場から、誰かのために役に立つ立場になることで、自分に自信をもち、子育てにも余裕をもって対処できるのではないかと考え、高齢者サロンのお世話の補助役を紹介した。現在、その仕事にも意欲的で子どもに関する相談が少なくなってきた。

● 案内板・相談コーナーの整備

- ・ 事務所が学校内にあるため、事務所の場所が分かりにくい面があったが、案内板を工夫することにより、スムーズに事務所まで来てもらえるようにした。また、相談者が安心して相談できるよう、カーテンを取り付けたり、照明を明るくしたりした。

事業を実施して

【成果】

- 本チームの認知度・信頼度が高まり、各関係機関との連携が、スムーズに行えるようになってきている。その結果、様々な問題事例を解決することができた。
- 通信発行や子育て広場・子育て学習会の開催により、多くの保護者に対して、予防教育を行うことができた。

【課題】

- 市外からの転入家庭やひとり親家庭など孤立しがちな保護者への支援がまだまだ行き届いていない。今後の対応策として、転入手続き時に本チームのパンフレットや訪問希望のはがきを配布すること、日常の見守りとして民生委員と連携すること等を考えている。
- 一部の関係機関との連携の困難さがあった。本チームのことを理解していただけるよう、訪問活動を行うようにしたい。

家庭教育支援チーム【八幡浜市】

～三位一体による、子育てへの意識向上を目指して～

◆活動の目的・理念

- 新時代に向けた、家庭教育・子育ての情報伝達や教育相談等を通して、家庭の教育力を高める。
- 三位一体で、子どもを育てる普遍的な視点の理解を深める。

活動拠点	八幡浜市教育委員会 生涯学習課	講座・学習 会開催数	23 回	相談対応 件数	18 件	訪問活動	件
広報活動	12 回	連携・協力 団体・機関	市内保育所3園、幼稚園2園、小学校8校				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	名	子育てサポーター・リーダー	1 名	民生委員・児童委員	名	
	元教職員	2 名	PTA役員	名	保健師	名	
計 3 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	名	

取組の概要

<主な取組内容>

- 新時代を意識した学習講座の開催
 - ・ 小学校は、新入児保護者対象への、家庭教育学習講座(8校)
 - ・ 幼稚園、保育所は、家庭参観日等に全保護者対象で、幼児期の子育て学習講座(幼稚園1、保育園3の計4園)
- 家庭教育相談の実施
 - ・ 各学習講座内の、相談コーナーや教育相談希望者の時間確保
- 定期的な訪問による見守り相談の実施
 - ・ 月1回、支援員が地域の先輩母親として母子行事に参加しながら、気軽に子育てへの相談実施(幼稚園1)
- 幼・保・小の管理職や先生方との連携
 - ・ 講座実施前に、子どもや保護者の実態把握や、講座内容の希望を聞き、現場の声を生かした連携体制の重視



(幼稚園での子育て学習講座の様子)

保護者の感想

- ・ 日頃の子育てを反省しました。次女の悩みを相談でき、有り難かったです。「誉めて、誉めて、誉める」を頑張ります。
- ・ 貴重な話が聞けて、自分の子育てを見直し、考え直す良いきっかけになりました。私も、子どもと一緒に成長できたらなあと思います。

<特色ある取組>

- 特定の地域に偏らない学習講座の実施
 - ・ 市内を3つのグループに分けて、年間10講座を計画し、毎年全地域で実施できるよう配慮(3年で市内一巡)
- 講座における提示資料・内容の工夫
 - ・ 情報内容を、絵やクイズ形式で表現して楽しく学べる自作資料や機器の利用
 - ・ 教育内容の改訂や、時代の変革の視点も伝達内容の一柱として重視
- 配布資料の準備
 - ・ 以前、作成していた「子育てたんぽぽ通信」の再利用や家庭教育手帳の抜粋等、家庭で繰り返し読んでいただけるよう必ず配布。(欠席家庭へも配布依頼)



(小学校での子育て学習講座の様子)

事業を実施して

【成果】

- 特定の地域に偏る事なく、市内全体への平均した子育て情報が伝達でき、喜んでいただいた。
- 計画していた以上の講座が実施できた。その背景には、自主的な講座依頼が増え、家庭教育講座の必要性が、浸透してきていると思われる。

【課題】

- 今年度で、事業開始からの支援員での活動は終了する。10年の歳月は「継続は力なり」を実感し、確かな手応えは感謝に尽きる。乳幼児期・少年期・青年期及び成人への一貫した人間教育を、どのように連携して実現するかが、10年間の活動での核として感じる課題である。

せいよ家庭教育・子育て応援グループ【西予市】

～親子共育を支える地域力として～

◆活動の目的・理念

- 家庭における教育力の重要性の啓発・底上げ及び保護者の抱える問題に寄り添い対応する。
- 学校や行政関係各課との連携を密にし、社会・家庭・学校のニーズに対応したグループ作りに努める。
- 無理なく息の長い活動を目指す。

活動拠点	せいよ家庭教育・子育て応援グループ事務所	講座・学習会開催数	6 回	相談対応件数	15 件	訪問活動	件
広報活動	3 回	連携・協力団体・機関	保育所16か所、幼稚園4園、小学校12校、中学校5校、公民館25館、児童館、学校教育課、子育て支援課、健康づくり推進課				
チーム	地域コーディネーター	1 名	子育てサポーター・リーダー	1 名	民生委員・児童委員	4 名	
スタッフ	元教職員	1 名	PTA役員	名	保健師	1 名	
計 12 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	4 名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 子どもの育ちに大切な親子のつながりを深める主催・共催イベント

- ・『山で遊ぼう』 6/3(土) 10:00～13:00 親子計52名
- ・『みんなでJUMP! トランポリンで遊ぼう!』 11/11(土) 10:00～11:30 親子計53名
- ・『親子deクッキング♪～バレンタインチョコづくり～』 2/10(土) 親子計40名

● 子育て・親育ち学習会の実施

- ・『家庭相談員の「連携」について』
講師：一般社団法人愛媛県ネットワーク協会 幸田 裕司 先生
6/8(木) 10:30～12:00 参加者計10名
- ・『特性を活かした支援の在り方～気になる子・親への支援～』
講師：一般社団法人愛媛県ネットワーク協会 幸田 裕司 先生
9/29(金) 19:00～20:30 参加者計74名
- ・『長期欠席の子ども達を救う～楽しい社会生活を取り戻すまで～』
講師：NPO法人えひめ心のつばさ副理事長 森山 希 先生
1/26(金) 19:00～20:30 参加者計30名



(子育て・親育ち学習会の様子)

● 寄り添い健やかな子育てを支える相談活動

- ・来所による相談：年間計画を基本に毎週木曜日 13:30～15:30、依頼により随時対応。
：中学校への出前相談を毎月第1・3金曜日 14:00～16:00に行う。
- ・訪問相談(家庭訪問)：園・学校で抱えきれない子どもや保護者の問題に対応。福祉課等の子育て関連機関と連携し、親の抱える問題を家庭訪問等で支える。
- ・イベントでの相談コーナーの設置：市内各イベント時に相談コーナー・託児コーナーを設置。

● 定例会での研鑽・情報の共有

- ・計画・実践・反省へとつなぐ話し合いや情報交換等で情報の共有・意識統一を図る。毎月第2木曜日実施。

保護者の感想

- ・親子ともに無理のない内容でよかったです。いろいろなお母さん方とふれあう機会がないので、今日は参加してよかったです。
- ・子育て、人間関係など、今後の参考になることがたくさんあり、とても興味深い話を楽しく聞かせていただきました。

<特色ある取組>

● 主催事業『山で遊ぼう』

親子のふれあいを深めるとともに、保護者同士の交流・情報交換、グループ員との交流という趣旨のもと企画。
特に、自然の中での親子の絆を重視したイベント。



(山で遊ぼうの様子)

事業を実施して

【成果】

- グループの活動が地域や学校にも根付き、イベント参加者が増加している。
- 各機関との連携が強化されてきている。

【課題】

- 課題のある家庭のセーフティネットとなるべく、活動の深化・連携を広げる。
- グループ活動の継続と新グループ員の発掘・育成が必要である。

宇和島市家庭教育支援チーム【宇和島市】

～おおきなあれ うわじまっこ～

◆活動の目的・理念

- 地域の実態を把握し、子育て中の保護者とパートナーシップをとりながら、豊かな人間関係が保てるようにする。
- 身近な環境や人材を生かし、様々な活動を通して保護者の悩みを引き出し解決の支援をする。

活動拠点	宇和島市教育委員会 生涯学習課	講座・学習 会開催数	60 回	相談対応 件数	5 件	訪問活動	件
広報活動	3 回	連携・協力 団体・機関	市内保育所24か所、幼稚園10園、認定こども園2園、小学校28校、中学校6校、公民館30館、市役所保険健康課				
チーム スタッフ	地域コーディネーター 元教職員	名 5 名	子育てサポーター・リーダー PTA役員	1 名 名	民生委員・児童委員 保健師	1 名 名	
計 8 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	1 名	

取組の概要

＜主な取組内容＞

- 親の子育てを応援する学習会の開催
 - ・ 市内30館の公民館とタイアップし、学校等の参観日など保護者の集まる機会をとらえて子育て学習会を開催。地域の人材を活用した13名の講師陣が、専門性を生かした7つのプログラムを提供している。
 - ① 親子のふれあい体操～ミュージック・ケア～
 - ② 親子のコミュニケーション～ものづくりを通して～
 - ③-1 基本的な生活習慣の育成
 - ③-2 孫育て奮闘記～自尊感情の育て方～
 - ④ 食育講座～1日元気！めざましごはん～
 - ⑤ 本に親しもう～読み聞かせ・本の紹介～
 - ⑥ 子どもの心と体の健康づくり
 - ⑦ 親子でうどん作り
- 必要な支援へとつなぐ相談活動の実施
 - ・ 市内幼保小中学校からの情報提供又は保護者から直接の相談要望に対応し、必要に応じて専門機関への繋ぎを実施している。
- チーム定例会の実施
 - ・ 毎月1回定例会を開催し、子育て学習会の調整や相談活動に係る意見交換、チームの活動に関する協議などを行っている。



(本に親しもう～読み聞かせ・本の紹介～)



(「親子のふれあい体操～ミュージック・ケア～」細かく裂いた新聞紙を音楽に合わせて舞い上げている様子)

＜特色ある取組＞

- チーム員による幼・保・小・中学校への訪問活動の実施
 - ・ チームと幼保小中学校との連携を密にする目的で、年に数回チーム員による訪問を実施している。情報交換をする中で、『子育て学習会開催の要望』や『子育て相談など支援の必要な家庭の情報提供』を受け、家庭教育支援の充実に効果をあげている。

事業を実施して

【成果】

- チームは、様々な分野の専門的な知識を持ったメンバーで構成されているため、いろいろな角度から子育ての支援を行えた。
- 他の部署との協働の中で子育てに関することで協力を求められることが多くなった。

【課題】

- 校区により情報交換が行いにくいところもあり諸問題の把握が難しく、きめ細かな相談対応につながりにくかった。
- 子どもや保護者が、気軽に悩みを打ち明けられる場や人間関係を構築する支援活動を継続していく必要がある。

あいなん子育て応援グループ【愛南町】

～保護者が夢と希望を持てる、楽しい子育て支援を目指して～

◆活動の目的・理念

- 乳幼児から高校生までの子どもを持つ保護者を対象に、子育てのニーズに応じた直接的・間接的な支援を行う。
- 関係機関との連携を必要に応じて行い、切れ目のない継続性を重視したサポート活動を行う。
- 保護者との関係性を築きながら、心理的・教育的な面における身近なサポーターとして関わる。

活動拠点	御荘文化センター	講座・学習 会開催数	2 回	相談対応 件数	22 件	訪問活動	件
広報活動	3 回	連携・協力 団体・機関	町内保育所9園、幼稚園1園、小学校14校、中学校5校、子育て支援センター、児童館				
チーム スタッフ	地域コーディネーター 5 名	子育てサポーター・リーダー 1 名	民生委員・児童委員 3 名	保健師 1 名			
計 11 名	元教職員 1 名	PTA役員 1 名	支援団体・NPO関係者 名	その他 名			

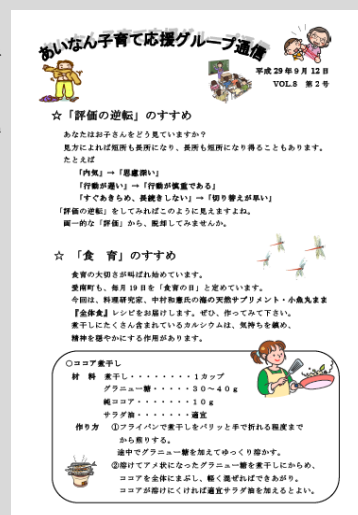
取組の概要

<主な取組内容>

- **子育て相談**
月2回、子育ての悩みなどに関する電話相談を受け付けている。希望者には、面談での相談も受け付ける。
- **子育て通信発行**
子育て広報誌(あいなん子育て応援グループ通信)を年間3回発行し、コラムやおやつレシピなど、家庭教育や子育てに関する情報を提供している。町内の小中学校・幼稚園・保育所の保護者や子育て支援施設利用者に配布している。
- **家庭教育イベントの実施**
親子で楽しめる家庭教育支援イベントを年2回実施している。
- **子育て支援活動**
町内の研修会・イベントでの託児支援を行っている。支援を行うことにより、グループの周知を図るとともに子育て家庭との交流を広げている。

保護者の感想

- ・ イベントに参加することで、他の保護者と話す機会ができ、気分転換になった。
- ・ イベントで、家ではできない遊びを体験ができ、子どもの違った面を見ることができた。
- ・ 子育て通信を見て、相談活動をしていることを知った。
- ・ 悩みを聞いてもらい、気持ちが楽になった。



(子育て広報誌「あいなん子育て応援グループ通信」)

<特色ある取組>

- **おやこであそぼう**
閉校になった小学校の体育館を利用して親子ふれあいイベントを開催した。参加した親子はリズム遊びやマジックショー、紙ひこうき大会、バルーンなどを楽しんだ。家庭教育支援ブースも設置し、子育て広報を配布してグループの活動の周知を図るとともに、子育て相談も受け付けて、地域の家庭教育活動を盛り上げた。



(ふれあい遊びを楽しむ親子)

事業を実施して

【成果】

- 自分たちで企画して、子育て支援イベントを実施することで、自分たちの活動を周知するとともに、親子にふれあいの機会を提供することができた。
- 他の子育て支援団体の活動支援を行うことや、スタッフが自主的に研修会に参加することで家庭教育・子育て相談に対応することができた。

【課題】

- メンバーが毎月の定例会で共通理解を図りながら、支援活動を行っている。いかに保護者のニーズに応じた活動を行うか、今後も研修を深める必要がある。
- 町内の他の子育て支援グループとの連携をさらに深め、支援活動を充実させる。
- 年間3回発行している子育て通信が、さらに保護者に活用される内容となるよう努める。